

光星男子 延長戦制す

柴田女子も快勝、2回戦へ



【男子1回戦・八学光星】川内(鹿見島)延長戦、八学光星は雪田海児が3点シュートを決め、74-69とする
|| 武蔵野の森総合スポーツプラザ

光星・雪田 最多28得点

▽男子1回戦

八学光星
(青森)

80

13延22101124

6長16181716

73

川内
(鹿見島)

延長戦にもつれ込む大接戦を制した八学光星。チームを勝利に導いたのは、やはりこの男だった。昨冬、プザビーターで悲願の全国初勝利をもたらした雪田海児がこの試合、両軍最多の28得点。終盤に重要なシ

ハイライト

シュートを決め続けたヒーローは「気持ちを強く持ってシュートを打てた」と胸を張った。八学光星は大黒柱・柳谷葉流が負傷で先発を外れ、完璧な布陣ではなかった。攻撃では川内のゾンディ

フェンスに苦しみ、守備では相手のセットプレーで失点がかさんで、「ずっと相手のペースだった」(佐々木彰彦コーチ)。
6点を追う第4クォーター(Q)、強度を高めた守備から走り、雪田と成田俣神が加点。1点差まで迫った残り1分14秒、雪田が3点シュートを決め、65-63と逆転。その後4点差をつけ、勝負は決まったかに思えた。しかし、残り11・2秒から連続失点し、0・7秒で追い付かれると延長戦に突入した。

焦りはあった。だが、劣勢でも「気持ちで負けてはいけない」(上山琉生主将)と鼓舞し合い、強気で攻め続けた。雪田は延長戦でも千金の3点シュートを沈め、チームは試合終了のブザーを歓喜で迎えた。

「選手に助けられた」と感謝したのは、佐々木コーチ。これまでの経験を生かして接戦をものにしたこの試合は、チームの成長ぶりが確実に表れていた。

2回戦は、激戦区・京都2位の京都精華学園に挑む。いまだ達成していない全国2勝に向け、上山主将は「リバウンドを徹底し、気持ちで負けずにプレーしたい」と意気込んだ。

(磯野雄太郎)